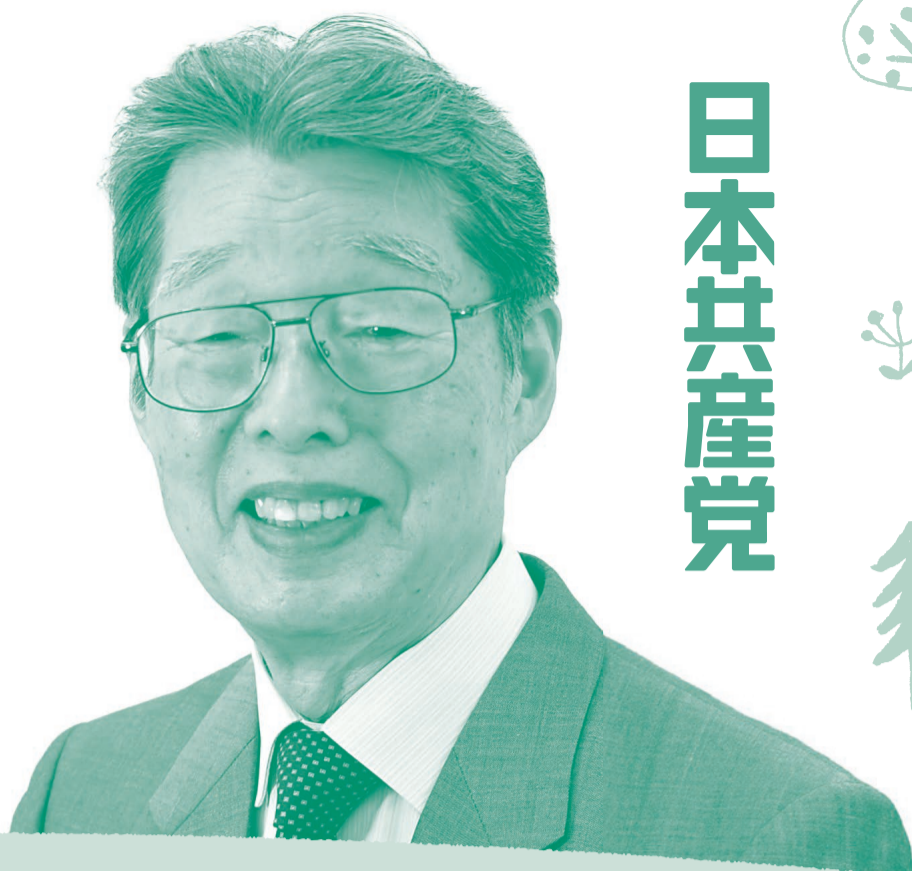


東温市を  
医療・介護・福祉のまち、  
教育・文化のまちへ

# 森 新一

東温市議会議員

日本共産党



略歴 | 1942年生まれ。松山商科大学（現松山大学）経済学部卒。愛媛医療生協に勤務ののち、1999年より2004年の合併まで川内町議を2期5年半。現在、東温市議2期目。

医療・介護・福祉

## ● 新型コロナウイルス感染症から市民のいのちと暮らしを守るために

コロナ対策で日本共産党は、感染拡大を防ぐために「面的で網羅的なPCR検査」を緊急提案。妥当性が明らかになってきています。森議員は市長に緊急申入れを行いました。感染が広がってからでは遅すぎます。病院・介護施設・学校などの職員のPCR検査を検討するよう申し入れました。

「感染したかも」の時、どうすべきか分かりやすさが求められます。また、感染した人への差別をなくすために、我がこととして受け止め連帯できるまちへ全力を挙げる市政にしましょう。



## ● 補聴器購入に対する助成制度を創設すること

加齢性難聴の方に補聴器購入にあたって補助を導入している自治体もあります。

## ● 高すぎる国保税・介護保険料の引き下げを

県内で一番高い介護保険料。一般会計から補填し引き下げを。国の制度をあらためる全国的な運動にも連帯します。

## ● 「特養」待機者解消、年金で入居できる特別養護老人ホームの増設を

特別養護老人ホーム待機者108人。このうち92人は入所の必要性の低い人だとし、必要性の高い人は16人だとしています。しかし、特養に入れられないために有料施設に無理して入っている方々がいます。それもできず、老老介護や介護離職、独居などで苦しんでいる在宅の方たちが相当な数います。低年金の方が、最後まで入居できるのは特別養護老人ホームしかありません。計画的に特別養護老人ホームの増設を進める市政に変えましょう。

## ● 高齢者のタクシー利用助成制度の創設を

## ● 地域住民の足であるバス路線の存続・充実を

## ● 認知症対策強化のためにグループホーム増設と認知症診療体制の充実を

## ● 公的医療機関再編成や統合を中止し、愛媛医療センターの充実を

子育て・教育・文化

## ● 少人数学級化とコロナ対策を

勉強が分かる、感染症にも備えやすい学校に。大規模校には養護教諭複数の配置を。

## ● 高校3年生(18歳)までの医療費無料化を

全国466の市町村で18歳までの医療費無料化が実現しています。(厚生労働省調べ2017年4月1日現在) 県内では鬼北町が実施しています。東温市においても実現しましょう。

## ● 学校給食の無料化を

## ● 就学援助を拡充し子どもの学び応援を

## ● インフルエンザ予防接種の自己負担軽減を

雇用・経済・環境・災害対策

## ● 脱原発・自然エネ活用で、仕事創設と災害に強いまちに

東温市の広大な農地を生かし若者の就労を増やすために、営農型の自然エネルギーによる、災害にも強い町に転換させましょう。

## ● 介護職員と保育士・学童保育士の待遇改善を

## ● 住宅リフォーム助成制度で安心できる住まいと中小企業応援を

## ● 非正規雇用の正社員化で雇用は正社員が当たり前の社会に

共同の力で市民参加のまちづくり運動を

## ● 愛媛医療センター内に高齢者総合福祉施設の設置実現を

## ● レスパシティーを市民が楽しみ交流できる文化・スポーツ・地場産業振興の場に



東温民報

2020年9月号外  
発行：日本共産党東温市委員会  
東温市則之内乙2548-74  
TEL 089-966-5416 (FAX兼)

● 東温市議選の予定候補者と政策を発表しましたのでお知らせします